

第3次総合計画の策定を支援 新潟県南魚沼市

第1次、第2次計画から継続して支援

コシヒカリや日本酒をはじめとするグルメや雪室利用など、地域の特性を活かした取組が進む新潟県南魚沼市。NPO ぐんまは、新市誕生後の2005年度にはじめて策定した総合計画（第1次計画）から今回の第3次計画まで、継続して総合計画策定を支援しています。

第3次総合計画では、「まち・ひと・しごと創生法」に基づいて策定・推進してきた、いわゆる地方版総合戦略との完全な一体化を図りました。また、市行政として取り組むすべての施策を盛り込み、総合計画としての位置づけを明確にしました。

特に、若い世代の移住と市民の暮らしやすさを念頭に、「若者が帰ってこられる、住み続けられるふるさと南魚沼の実現」を目指したまちづくりを進めることを重視した計画となりました。



第3次人権教育・啓発基本計画の策定を支援 群馬県富岡市

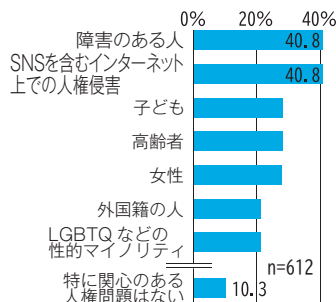
第2次計画に続き支援

富岡市は2006年に「人権尊重都市」を宣言し、あらゆる場における人権教育・啓発を推進しています。その取組の指針となる人権教育・啓発基本計画について、2014年度の第2次計画に引き続き、第3次計画の策定を支援しました。

第3次計画では、近年の社会経済情勢の変化、国や県の計画、市民意識調査（2024年度実施）の結果などを踏まえ、障害のある人、子ども、高齢者、女性、インターネットに関わる人権課題への対応など、具体的な取組内容を整理するとともに、性的マイノリ

ティ、刑を終えて出所した人などの新たな項目、支援が必要な子ども・若者への対応強化、地域防災への女性の参画などの新たな視点を追加しました。

関心の高い人権課題（市民意識調査より）

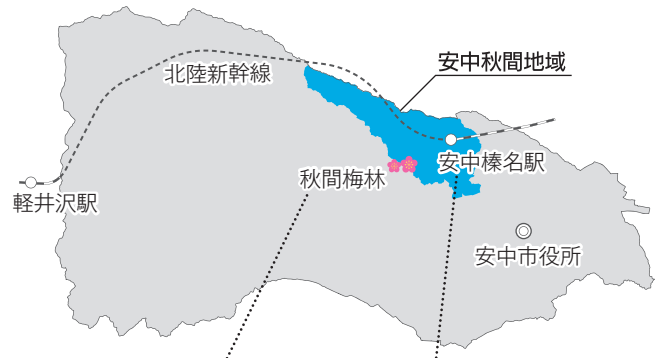


※グラフは上位項目と「特に関心のある人権課題はない」を抜粋

2つのプロジェクトが始動

群馬県初の農村RMOが安中で発足 群馬県安中市秋間地域

安中市秋間地区には、全国有数の梅生産量を誇る群馬県の三大梅林のひとつ秋間梅林がありますが、近年は、農業者の高齢化等による離農と梅林の荒廃が見られ、梅生産を取り巻く環境は厳しさを増しています。そこで、秋間地域では農業を核とする取組によって、地域をもっと暮らしやすく、楽しくすることを目的に、自治会や農業者、地域づくりに取り組む団体などを母体に、農林水産省事業を活用した「農村RMO※」を設立しました。これは県内初の取組で、注目が集まっています。NPO ぐんまは、この取組の中長期的な方向性を示す「将来ビジョン」の策定を支援しました。2026年度も、引き続き、地域がめざす将来像の実現に向けた取組を支援します。



※農村型地域運営組織。Region Management Organization。複数の集落の機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織。全国95地区で様々な取組が進行中(令和7年11月1日時点。農林水産省HPより)

第3次総合計画の策定に着手 群馬県富岡市

富岡市で、次期計画となる第3次総合計画の2027年度からのスタートに向け、2025・26年度の2か年にわたる策定作業が始動しました。NPO ぐんまは、現行の前期・中期・後期の3期にわたる第2次総合計画の策定支援をしてきましたが、新たな計画に向けても支援をしています。

富岡市ではこれまで、市内全地区における地域自治組織(地域づくり協議会)の設立、地域づくりの拠点施設として公民館の地域づくりセンターへの移行、地域づくり活動を担保する条例制定、地域別計画の総合計画への掲載など、市民主体による地域づくりを積極的に進めており、第3次総合計画では、まちの将来像(ビジョン)として「市民参加の最先端都市 とみおか」を案として掲げ、これまで以上に市民の声やEBPM(エビデンスに基づく政策立案)

などを反映した計画づくりを進めています。

2025年度は、計画策定に向けた各種基礎調査に加え、市民アンケート調査、タウンミーティング、市職員を対象としたEBPM(合理的根拠(エビデンス)に基づく政策立案)研修などを実施しました。



タウンミーティングのコーディネーターを担う熊倉代表理事



現行の第2次富岡市総合計画 後期基本計画

ビジタートイレに全国から反響

23期は新たに5つのトイレを認証

制度開始から23年目となった群馬県のぐんまビジタートイレ認証制度。NPO ぐんまは引き続き制度運営を支援しました。2025年度期は、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の「高山社跡」や世界的プロダクトデザイナーであるジャスパー・モリソン氏が手掛けた前橋中心市街地の馬場川沿いのトイレなど、5か所が新たに認証されました。

また、共同通信社の取材を受け、毎日新聞や日本経済新聞などの全国紙、上毛新聞をはじめ、長野、愛知、神戸、愛媛、沖縄など、全国の様々な地方紙にこの記事が取り上げられました。記事の中では(一社)日本トイレ協会会長から、先進的な取組であり、全国の公衆トイレがぐんまビジタートイレの認証基準を改修や新設時の参考にしてほしいとのコメントをいただきました。多方面から記事への反響があり、

地方議会や各種研究機関等からの視察や取材などを受けました。



高山社跡管理便所棟トイレ (藤岡市)



馬場川遊歩道公園公衆トイレ (前橋市)

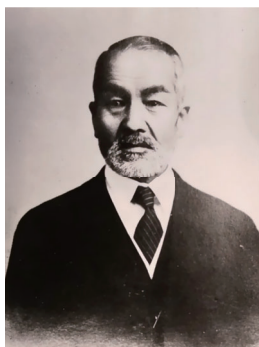


展示物の充実を支援

妙義ビジターセンター

2023年にリニューアルした妙義ビジターセンターについて、NPO ぐんまは引き続き展示内容の充実を支援しました。

日本の山岳文化のレジェンドであり、太田市出身で第3代日本山岳会会長を務めた木暮理太郎氏(1873-1944)について、そして、妙義神社門前町の時代の彫刻の寄贈に合わせた展示が、新たに追加されました。



木暮理太郎
© 木暮理太郎翁の足跡を語り継ぐ会



門前町の旅籠の格子窓にはめ込まれていた、橋、亀、松、矢羽根の4つの彫刻

学生生活実態調査を支援

高崎経済大学

高崎経済大学では、2つの学部の全学生約4千人を対象に、生活の状況やニーズなどに関するアンケート調査を定期的に行っています。NPO ぐんまはその集計・分析を支援しました。

エコアクション 21

事務局の運営



エコアクション21
認定・登録番号 1-016

2025年度は219事業者を審査・判定

環境省制定の環境マネジメントシステム「エコアクション21」の地域事務局として、NPO ぐんまは、環境経営に取り組む地域の事業者を支援しています。また、2020年度の制度改定に伴い、地域判定も行う「中核事務局」としての役割を担っています。

2025年度は、219事業者(地域事務局群馬所管156件、群馬県中小企業団体中央会所管63件)の審査・判定を進めました。2026年度も地域の事業者様の環境経営推進を支援していきます。



温泉文化のユネスコ無形文化遺産 提案決定に際して

“おもてなし”を生み出した“温まる文化”を世界に

2025年11月28日、文化庁は「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産提案を決めました。

従来の文化財保護法の枠組みから踏み出し、芸能・工芸・祭りではなく「社会的慣習」を提案分野としました。いわゆる“お宝”ではなく、国民一般に広く長くゆきわたっている生活習慣を、日本を代表する文化としてユネスコに提案することを決めました。この決定には、温泉文化の無形文化遺産登録を言い出した一人としても頭の下がる思いがあります。

文化庁は、提案理由の核心を「『温泉文化』は、『自然の恵みである温泉に浸かり、心と体を癒やす』という、日本人に根付いている社会的慣習である。」とし、この部分に態々傍線を引いてまで、報道発表としました。そして、その案件の特異性から、ユネスコ審議を2030年末に設定した提案としました。

この5年間を通して、私たちは理解を共有しなくてはなりません。社会的慣習として国民に理解されているのか。世界の人々に理解を拡げられるのか。環境省所管の温泉法を中心に保護・振興策を確立できるのか。

鍵の一つに、温泉地を訪れて入浴し、暮らしの活力を回復し続けてきた人々、つまり私たちの存在が

あります。

無形文化遺産登録の先人・フィンランドのサウナ文化は、主として個人設置のサウナという人造物を原点とし、入る場所と入る人々とが一体の“洗う文化”です。対して、温泉は、自然の湧出場に人々が赴いて入り“温まる文化”です。温泉文化は、温泉地で人々の入湯を丹念に準備される方々、温泉地と入浴者を結ぶ方々、そして入浴者の三者の輪で成り立つことを改めて意識したいものです。

だから、そこに“おもてなし”という粹な形が生まれました。入浴者同士の静かな洗練が生まれました。これらを、どう知らせてゆくか。その点に暫し集中せざるをえず、理事・会員・スタッフの皆様にはご負担をおかけすること、改めてお許しを願います。

(代表理事 熊倉記)



シンポジウムで講演する熊倉代表理事（日本温泉科学学会「温泉のユネスコ登録シンポジウム」(2021年11月草津町)

会員を募集しています

会員の皆様からご協力いただく「会費」は、NPO ぐんまが公益活動を推進するためのたいへん重要な財源です。設立趣旨や活動内容に賛同いただき、会員としての活動を支援してくださる方を随時募集しています。

ご入会ご希望の方や興味のある方は、事務局までお気軽にご連絡ください。

会員種別	入会金	年会費 (1口)
正会員 (主に個人)	なし	10,000円
賛助会員 (主に企業・団体)	20,000円	100,000円